

令和元年度の決算審査

9月定例会で閉会中の継続審査となった決算認定議案を10月14日から26日にかけて4つの常任委員会で審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録はウェブサイトに掲載しています。

ID 1022724

総務委員会

救急出動状況について

Q 高齢者の搬送人員は1万人を超えており、その中で一番多いのが急病で、2番目が転倒や転落などによる一般負傷、3番目が交通事故となっているとのことだが、高齢者の事故予防策の啓発などは行っているのか。

A ケガのリスクを減らす予防救急の中で高齢者の転倒事故予防策を紹介し、そのことを講習会等での説明やウェブサイトに掲載するなどして啓発に努めています。

災害用街頭消火器の整備について

Q 街頭消火器が9,805本あるとのことだが、実際に使用する市民が取り扱うための研修等は実施しているのか。

A 令和元年度は防火防災訓練として128回実施しています。また、消防のウェブサイトやユーチューブにおいて消火器の使用方法を紹介して、有事の際に適切に使用できるよう広報活動を実施しています。

福祉健康委員会

病院事業会計について

Q 一宮市立市民病院の一般病床利用率は81.6%であるが、適切だと考えているのか。

A 市民病院と同様に救急医療を行っている黒字経営の病院では、在院日数や入院単価はほぼ同じ状況ですが、病床利用率85%から90%となっています。市民病院の病床利用率を高めるためには、地域のクリニックとの連携がポイントになると考えています。

国民健康保険事業特別会計について

Q 国保会計の累積赤字を解消するため、それに見合った保険税率としていくことは理解するが、数年後に累積赤字が解消されたあとはどうする予定か。

A 累積赤字が解消されたときは、国保財政の弾力化のため、ある程度の額までは財政調整基金に積み立てて、その後なお黒字が見込まれる場合は、保険事業の充実や保険税の引き下げなどの方策が考えられます。

経済教育委員会

キノガワフユスリカ対策について

Q 市が対策として設置している防虫ネットの成果はあったのか。

A 防虫ネットは、成虫になってからの対策になり、膨大に飛んでいるものを捕獲することは難しく、抜本的な対策としては、水中にいる卵や幼虫の時期に対応する必要があります。そのため、木曽川を管轄する国に対して要望を続けています。

意見 国や県などと連携しながら、地域住民が不快な思いをしないよう、より効果的な発生源への対策を検討してほしいとの意見があった。

オリナス一宮の活用について

意見 今までのいろいろなPRを実施しているにも関わらず、平成28年8月の供用開始以来、一貫して稼働率が低く、令和2年2月に実施した無料で利用できるモニタリングにおいても利用者が少ない。こういった現実をしっかりと認識し、今一度、オリナス一宮の活用方法の見直しを検討してほしいとの意見があった。

建設水道委員会

県から購入する水の増加について

Q 水道水のうち、県からの購入分が増加しているのはなぜか。

A 水道水は、自己水源である地下水及び伏流水を利用していますが、不足する分を県から購入しています。近年、自己水源である地下水井戸の一部で、老朽化のため砂が混じるなど、水質が劣化しており、取水量を減らしています。

このため、今後も県から購入する水量は増加していきます。

橋梁保全事業について

Q 市内で点検や補修すべき橋はいくつあるのか。

A 点検対象となる長さ2メートル以上の橋は、市内に905橋あります。5年に1回の頻度で行う点検は、平成26年度から実施しており、現在までに全ての橋で1回目が済んでいます。このうち34橋は次回の点検までに修繕が必要との判定となり、令和2年度末までに22橋の修繕が完了する予定です。

常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

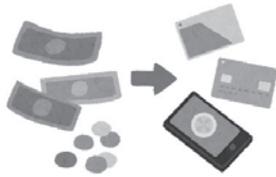
窓口手数料等キャッシュレス決済拡大事業について

Q キャッシュレス決済の件数及び利用率はどの程度か。また、今後QRコード及びクレジットカード決済が導入されることにより、どの程度の利用率になると見込んでいるのか。

A 令和元年度の電子マネー利用件数は約2,700件で、利用率は1%程度です。今後の利用率は、先行して導入している他都市の状況から3%を見込んでいます。

意見 キャッシュレス決済に不慣れな方も多と思われるので、機器を導入した各窓口に必要な応じて職員を配置するなど、サポート体制を強化してほしいとの意見があった。

意見 キャッシュレス決済を行う方に対して優先窓口を設置するなど、事業の促進につながる方策を検討してほしいとの意見があった。



経済教育委員会

市民農園の管理について

Q 起連区の市民農園を閉園し地主に返還するのにあたり、残存物の処分費の一部を負担することのことだが、どのような作業をするのか。

A コンクリートブロック、鉄板などの農作業とは関係ない残存物を撤去します。

意見 原状回復の費用は農園の借主が負うべきであり、日頃の管理を行っていただければ市の負担は減るので、ほかの市民農園では、通常の管理を徹底してほしいとの意見があった。

一宮市産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例の制定について

意見 トラブルの多くは、施設設置前の段階で住民に十分な説明がないことや、住民の意見を設置者が理解していないなど、双方の合意形成が出来ていないことが原因とのことだが、設置者が住民とトラブルにならないようにこの条例を活用してほしいとの意見があった。

福祉健康委員会

黒田西保育園の民間移管について

Q 老朽化している保育園を民間へ移管することで、施設の整備費や運営費に国や県から補助金を受けることができるとのことだが、その補助はどの程度なのか。

A 整備費については限度額がありますが、国から対象経費の2分の1以上の補助が、また運営費については国と県を合わせて4分の3の補助が受けられる見込みです。

意見 黒田西保育園を民間へ移管することは、保育園を利用している子どもやその保護者、地域住民への影響が大きく、公立保育園のまま建て替えるべきと考えるため、議案第121号には賛成できないとの意見があった。



賛否の分かれた議案について

意見 議案第74号、80号、120号については反対であるとの意見があった。

建設水道委員会

福塚線道路改築事業について

Q 工事請負費の増額理由は何か。

A 工事区間の一番南側となる県道名古屋一宮線との接続部の交差点について、公安委員会と協議を行った結果、防護柵の設置、交通誘導員の増員、信号機や横断歩道の切り替えを夜間に行うなど、変更が必要となったためです。

Q 切り替えの予定日はいつか。また、切り替え後は即日に供用をするのか。

A 切り替えは、令和3年2月22日の夜間の予定です。また、切り替え後は、交差点を含む一区間を部分的に供用開始する予定です。

一宮市屋外広告物条例の制定について

Q 県の基準に比べて規制が強化される部分もあるが、どのように考えているのか。

A 例えば国道22号沿が禁止地域となるため、県の条例では設置できていた広告物が、市の条例では設置できなくなるものも出てきます。条例施行後は、経過措置期間内に市の基準に合うよう指導していきます。